

平成 27 年 2 月 13 日 開会・閉会

平成 2 7 年 2 月

富山地区広域圏事務組合議会定例会

会 議 録

富山地区広域圏事務組合議会

本定例会に付議された議案件名

議案第 1 号 平成27年度富山地区広域圏事務組合一般会計予算

議案第 2 号 平成26年度富山地区広域圏事務組合一般会計補正
予算（第1号）

平成27年2月富山地区広域圏事務組合議会定例会

会 議 録 目 次

全	号（2月13日）	
議 事 日 程		1
本日の会議に付した事件		1
出・欠席議員の氏名		2
説明のため出席した者		3
職務のため議場に出席した職員		3
開	会	4
開	議	4
会議録署名議員の指名		4
会 期 の 決 定		4
提案理由の説明		5
議案の質疑・討論・採決		8
理事長あいさつ		9
閉	会	9

議 事 日 程

平成27年2月13日(金)
午後4時15分 開議

- | | |
|----|-------------|
| 第1 | 会議録署名議員の指名 |
| 第2 | 会期決定の件 |
| 第3 | 議案第1号、議案第2号 |
-

本日の会議に付した事件

- | | |
|------|-------------|
| 日程第1 | 会議録署名議員の指名 |
| 日程第2 | 会期決定の件 |
| 日程第3 | 議案第1号、議案第2号 |

出席議員（16人）

1	番	亀	山		彰
2	番	佐	藤	康	弘
4	番	勝	戸		謙
5	番	前	原	英	石
6	番	開	田	晃	江
7	番	金	厚	有	豊
8	番	宝	嶋	洋	子
9	番	堀	江	か	す代
10	番	村	家		博
11	番	原	田	佳	津広
12	番	中	川		勇
13	番	針	山	常	喜
14	番	高	見	隆	夫
15	番	柞	山	数	男
16	番	岡	本		保
17	番	五	本	幸	正

欠席議員（1人）

3 番 岩 城 晶 巳

説明のため出席した者

理 副 理	事 理	事 事	長 長 事		森 舟 上 伊 金 室 細 岸 松 金 松	橋 田 東 森 田 川 本 田 井	雅 貴 昌 尚 勝 正 重 俊 茂 一	志 之 孝 志 雄 廣 茂 臣 治 樹 郎
		//						
		//						
事 会 事	務 計 務	局 管 局	長 理 次 所 長 所 長 所 長					
ク リ ン セ ン タ ー								
リ サ イ ク ル セ ン タ ー								
衛 生 セ ン タ ー								

職務のため議場に参加した職員

ク リ ン セ ン タ ー 所 長 代 理	熊 久	本 保	正 子
事 務 局 主 幹		浩	

————◇————◇————◇
開 会
午後４時１５分 開会

○議長（中川 勇 君）

ただいまから、平成２７年２月 富山地区広域圏事務組合議会定例会を開会いたします。

————◇————◇————◇
開 議
午後４時１５分 開議

○議長（中川 勇 君）

本日の会議を開きます。

議事日程は、お手元に配布のとおりであります。

日程に入ります前に、本日の欠席議員について、ご報告いたします。

滑川市選出の 岩城 晶巳 議員より都合により欠席との届出がありましたので、ご報告いたします。

————◇————◇————◇
会議録署名議員の指名

○議長（中川 勇 君）

これより、日程第１ 会議録署名議員の指名を行います。

会議規則、第９６条の規定により、会期中の会議録署名議員に ６番 開田 晃江 君、
１０番 村家 博 君、１４番 高見 隆夫 君を指名いたします。

————◇————◇————◇
会 期 の 決 定

○議長（中川 勇 君）

次に、日程第２ 会期決定の件を議題といたします。

おはかりします。

本定例会の会期は、本日一日間といたしたいと思います。

これにご異議ありませんか。

（ 「異議なし」と呼ぶ者あり ）

○議長（中川 勇 君）

ご異議なしと認めます。

よって、会期は、本日１日間と決定いたしました。

◇ ◇ ◇
—— 提 案 理 由 の 説 明 ——

○議長（中川 勇 君）

次に、日程第３ 議案第１号及び議案第２号を一括議題といたします。

理事長から提案理由の説明を求めます。

（理事長 森 雅志 君 登壇）

○理事長（森 雅志 君）

平成２７年２月富山地区広域圏事務組合議会定例会の開会にあたり、提出しました案件の概要についてご説明申し上げます。

我が国の景気は、雇用・所得環境の改善傾向が続くなか、政府の各種政策の効果もあって、緩やかに回復していくことが期待されるとされておりますが、地方公共団体を取り巻く環境は、依然として厳しいものとなっております。

また、地球温暖化をはじめとする環境問題への対応は、喫緊の課題となっており、一般廃棄物行政において、市町村の果たすべき役割は、以前にも増して大きなものとなっております。

環境問題は、人々の日々の活動が大きく関係しており、その影響は、私たちだけでなく、未来の子どもたちにまで及ぶことになります。

富山の美しく、豊かな自然環境を将来に引き継いでいくためにも、行政、事業者、住民が連携・協力し、環境に対する負荷をできるだけ小さくする循環型社会の構築に向けた取り組みを継続していく必要があります。

このため、当組合では、厳しい財政状況を踏まえて、さらなる事務事業の見直しを進めるとともに、構成市町村と連携を図りながら、廃棄物の減量化・再資源化に取り組み、環境行政を推進してまいり所存でありますので、議員各位の一層のご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

次に、ごみの減量化やリサイクルの状況について申し上げます。

当組合の構成市町村から排出される可燃ごみの量は、平成２４年度が約１５万３，５００トン、平成２５年度が約１５万１，０００トンと、年間１５万トン台で推移しております。

また、不燃ごみにつきましては、平成２４年度が約７，０３０トン、平成２５年度が約６，６００トンと、若干、減少の傾向にあり、少子高齢化とそれに伴う人口減少や経済構造の変化、リサイクルの推進等により、今後も廃棄物発生量は減少の方向に推移すると考えられます。

当組合といたしましては、循環型社会へと進みつつある将来においても、安定した組合経営や構成市町村の負担軽減等が図られるよう、組合の経営方法等について、今後、検討していく必要があるものと考えております。

次に、クリーンセンターについて申し上げます。

可燃ごみの焼却処理については、ダイオキシンなどの環境汚染物質の発生を抑制し、焼却灰の無害化・減容化を図るなど、安全面と衛生面に万全を期した施設運営を行うとともに、焼却熱を利用した発電等により、経費の節減にも努めてまいります。

また、平成３４年度までの設備更新計画に基づき、経年劣化した設備の更新を実施し、安定的、継続的な施設の運転管理を行ってまいりたいと考えております。

なお、設備更新に必要な財源については、廃棄物発電の余剰電力売電収入の増収分などを一般廃棄物処理施設整備基金に積み立て、活用することとしております。

また、熔融スラグについては、構成市町村の協力を得ながら道路の舗装材などへの有効利用を図っておりますが、今後もこの取り組みを継続し、埋立処分量の削減に努めてまいりたいと考えております。

次に、リサイクルセンターについて申し上げます。

リサイクルセンターにおいても、ビン・缶の選別ラインや大型金属資源化施設などの設備の経年化が進んできており、平成２８年度までの設備更新計画に基づき、設備の更新を実施してまいりたいと考えております。

また、リサイクルプラザにおいては、不用となった自転車や家具などのリサイクルを通じて、再利用の促進、並びに廃棄物の抑制に努めてまいります。

次に、衛生センターについて申し上げます。

し尿の搬入量につきましては、平成２５年度が約３万キロリットルで、平成２６年度も同程度となる見込みですが、滑川市の搬入が平成２５年

１０月から始まったことを考慮しますと、実質は減少傾向となっております。

新処理施設は、稼働後２年目に入りますが、引き続き住民の快適な生活環境の実現を図るとともに、循環型社会に対応し、環境に配慮した資源再生を目指して、施設の適正な管理・運営に努めてまいります。

次に、常願寺ハイツ及びスポーツ公園について申し上げます。

これらの施設については、指定管理者制度を導入し、１０年目に入りますが、民間事業者のノウハウを活かした、各種スポーツ・健康教室などの開催により、年間約１０万人の利用者があり、指定管理者制度の導入が大きな成果を上げているところであります。

今後とも、指定管理者と連携を図りながら、地域住民のスポーツ振興と健康増進に努めてまいりたいと考えております。

次に、提出しました案件について、その概要をご説明申し上げます。

平成２７年度一般会計の予算規模については、対前年度当初予算比０．９％減の５９億４，１６３万余円を計上しており、予算編成にあたりましては、歳入の確保と経費の節減を図り、構成市町村の負担の軽減に努めたところであります。

まず、組合費については、議会費として１２７万余円、事務局費として３，３２３万余円、衛生費として３，５４６万余円、常願寺ハイツスポーツ公園の維持管理費として１，４６８万余円を計上しております。

次に、清掃事業等に係る衛生費では、ごみ処理事業費については、クリーンセンターの設備更新に要する経費３億５，４０２万余円をはじめ、砺波広域圏事務組合から委託を受けているごみ処理に要する経費などを含め、２１億６，８６３万余円を計上しております。

リサイクル事業費については、リサイクルセンターの設備更新に要する経費２，２５４万余円のほか、施設の維持管理やリサイクル活動推進費、容器包装廃棄物の中間処理に要する経費など、６億５，０８３万余円を計上しております。

し尿処理事業費については、し尿処理施設の管理・運営に要する経費１億９，４８４万余円を計上しております。

施設建設事業費については、余剰電力売電収入の増額分などを今後の施設整備等の財源とするため、一般廃棄物処理施設整備基金への積立金として、２億８，５６４万余円を計上しております。

公債費については、施設整備に係る組合債の元利償還金２５億５，２０２万余円及び予備費として５００万円を計上しております。

次に、平成２６年度一般会計の補正予算（第１号）について、ご説明申し上げます。

まず、リサイクル事業費において、アルミ缶のプレス品の売払い価格の上昇等に伴い、構成市町村に支払うリサイクル報償金が当初見込みを上回ったことから、4,500万円の増額補正を行うものであります。

また、積立金については、平成25年度一般会計の決算剰余金及び余剰電力売払収入の一部を一般廃棄物処理施設整備基金に積み立てるもので、6億7,600万円を増額するものであります。

以上が、今回提出しました案件の概要であります。

なにとぞ、慎重ご審議のうえ、適正な議決をいただきますようお願い申し上げます。

◇ ◇ ◇
——— 議案の質疑・討論・採決 ———

○議長（中川 勇 君）

これより、

議案第1号 平成27年度 富山地区広域圏事務組合一般会計予算

議案第2号 平成26年度 富山地区広域圏事務組合一般会計補正予算（第1号）

以上2件を一括して、質疑に入ります。

質疑はありませんか。 質疑なしと認めます。

○議長（中川 勇 君）

これより、議案第1号及び議案第2号、以上2件を一括して討論に入ります。

討論はありませんか。 討論なしと認めます。

○議長（中川 勇 君）

これより、議案第1号及び議案第2号、以上2件を一括して採決いたします。

各案件は、原案のとおり決することに、ご異議ありませんか。

（ 「異議なし」と呼ぶ者あり ）

○議長（中川 勇 君）

ご異議なしと認めます。

よって、各案件は、原案のとおり可決されました。

以上で、本定例会に付議された案件は、すべて終了いたしました。

◇ ◇ ◇
—— 理 事 長 あ い さ つ ——

○理事長（森 雅志 君）

議員各位には、市町村議会開会前のたいへんお忙しい中、富山地区広域圏事務組合2月定例会にご出席を賜り、誠にありがとうございました。

また、ただいま提出いたしました案件につきまして、議決をいただき、厚くお礼を申し上げます。

毎年この季節に申し上げておりますが、立春が過ぎて、暦の上では春ということですが、今日も寒い日で、降雪もありました。まだまだ寒い日が続くと思われます。

どうぞ皆様方には健康に十分ご留意いただきますことを申し上げ、そのうえで、今後とも、当広域圏発展のため、ご尽力賜りますようお願い申し上げます。閉会のあいさつとさせていただきます。

ありがとうございました。

◇ ◇ ◇
—— 閉 会 ——

○議長（中川 勇 君）

平成27年2月 富山地区広域圏事務組合議会定例会を閉会いたします。

午後4時27分 閉会